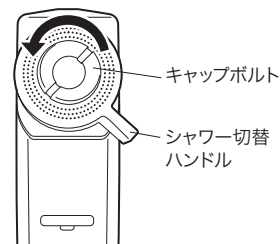


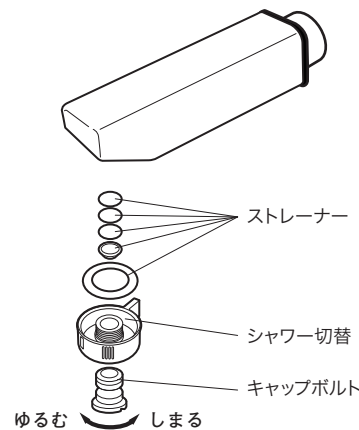
7. ストレーナーの掃除

- (1) コインなどでキャップボルト左方向に回し、取り外します。



- (2) シャワー切替ハンドルを引っ張り、取り外してください。
※切替ハンドルが固くて外れにくい場合がありますが回転させず、まっすぐ引き抜いてください。無理に回転させると破損するおそれがあります。
※取り外す際にストレーナーを紛失しないように注意してください。

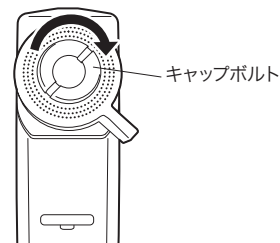
- (3) ストレーナーを取り出し、ストレーナーのゴミを水で洗い流してください。



- (4) ストレーナー(計5枚)を組み直してください。
※山形のストレーナーはキャップボルト側へ向くように取り付けてください。

- (5) 切替ハンドルを取り付けてください。
※ハンドルの向きを間違えないように注意してください。

- (6) キャップボルトを締め込んでください。
※締め込みすぎは破損する恐れがあります。がたつかない程度まで締めてください。



株式会社 ハウステック

群馬県高崎市栄町1-1 ヤマダホールディングス本社11階内 〒370-0841

Tel.027-395-0410 www.housetec.co.jp

L34S1071YI

●施工後の調節

●流量調節

不用意に全開した場合の水の飛散やオーバーフローによる家財などを濡らす財産損害発生防止のため、全開時、8L/分程度(市販の洗面器(容量約3L)一杯にするのに30秒弱)になるように湯水の止水栓を調節してください。

●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

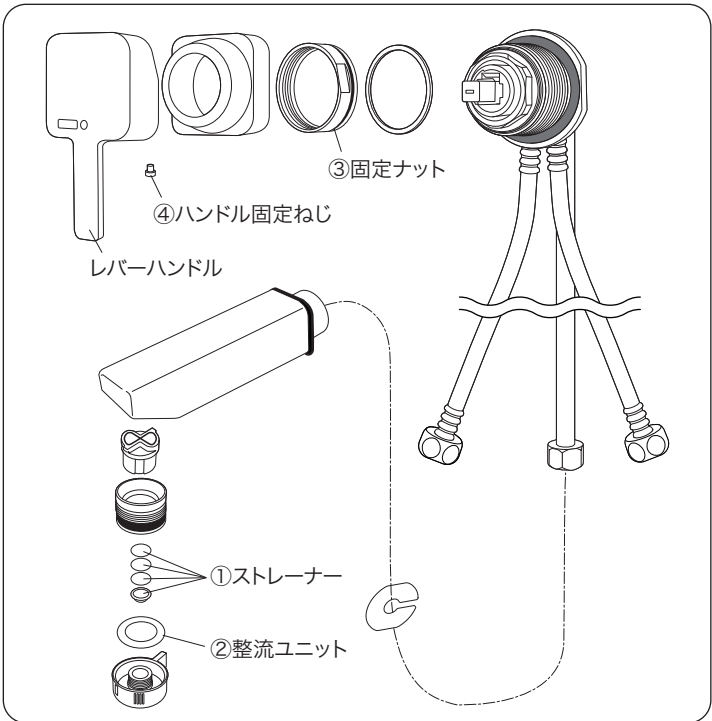
●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置方法
流量が少ない	圧力は十分か?		「使用条件」の項参照
	配管途中に大きな抵抗はないか?		抵抗となる障害物を取り除く
	止水栓は十分開いているか?		止水栓を十分開く
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか?	①②	整流ユニット、ストレーナーのゴミ等を水で洗い流す
水が少ない/出ない	ホースはねじれていないか?		接続作業をやり直し、ホースのねじれを解消してください。
水が止まらない	ゆるみはないか?	③	固定ナットを締める。締めすぎるとレバーハンドルが重くなる場合がありますので注意してください。
希望の温度が得られない	圧力は十分か?		「使用条件」の項参照
	流量調節はよいか?		「流量調節」の項参照
	整流ユニット、ストレーナーにゴミ詰まりはないか?	①②	ゴミ等を水で洗い流す
レバーハンドルがガタつく	ゆるみはないか?	④	ねじをしっかりと締める

※水を止めた後、数秒間水がしたたることがありますが、シャワーヘッド内に残った水が排水される為で、故障ではありません。

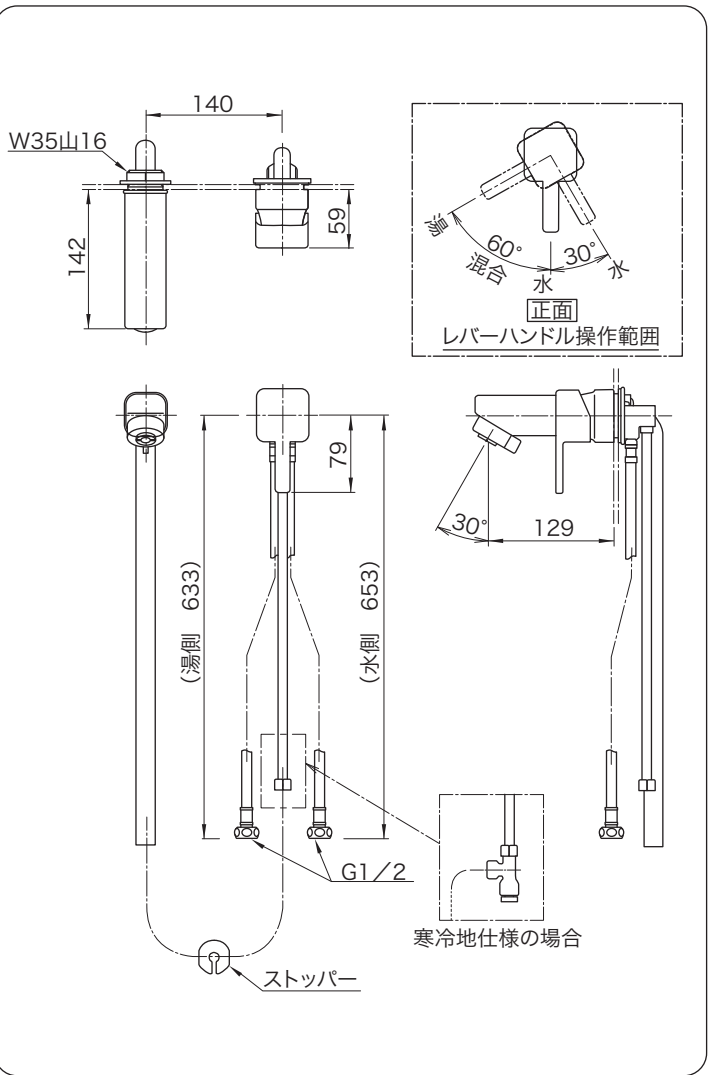
●使用した六角レンチは必ず取扱説明書と一緒にお客様にお渡しください。



取付・設置説明書

ホース収納式シングルレバーシャワー混合水栓 JHFM型

●商品図



●安全上のご注意

- 施工前に、この「取付・設置説明書」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この取付・設置説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

△ 注 意

湯水を逆に配管しないでください。

水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水抜きをしてください。
寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。

凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

給湯器の給湯温度設定は85℃以下で
ご使用ください。

水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らすおそれがあります。

衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。

破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。

【寒冷地用の場合】
水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。

湯水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らすおそれがあります。

修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。

ケガをしたり、故障・破損のおそれがあります。

ヤケドのおそれがないところまで水圧変動を抑えた配管設備にしてください。

他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇し、ヤケドをするおそれがあります。

給水・給湯ホースの差し直しをする際は、必ず湯側水側の両方の止水栓を閉じてから行ってください。

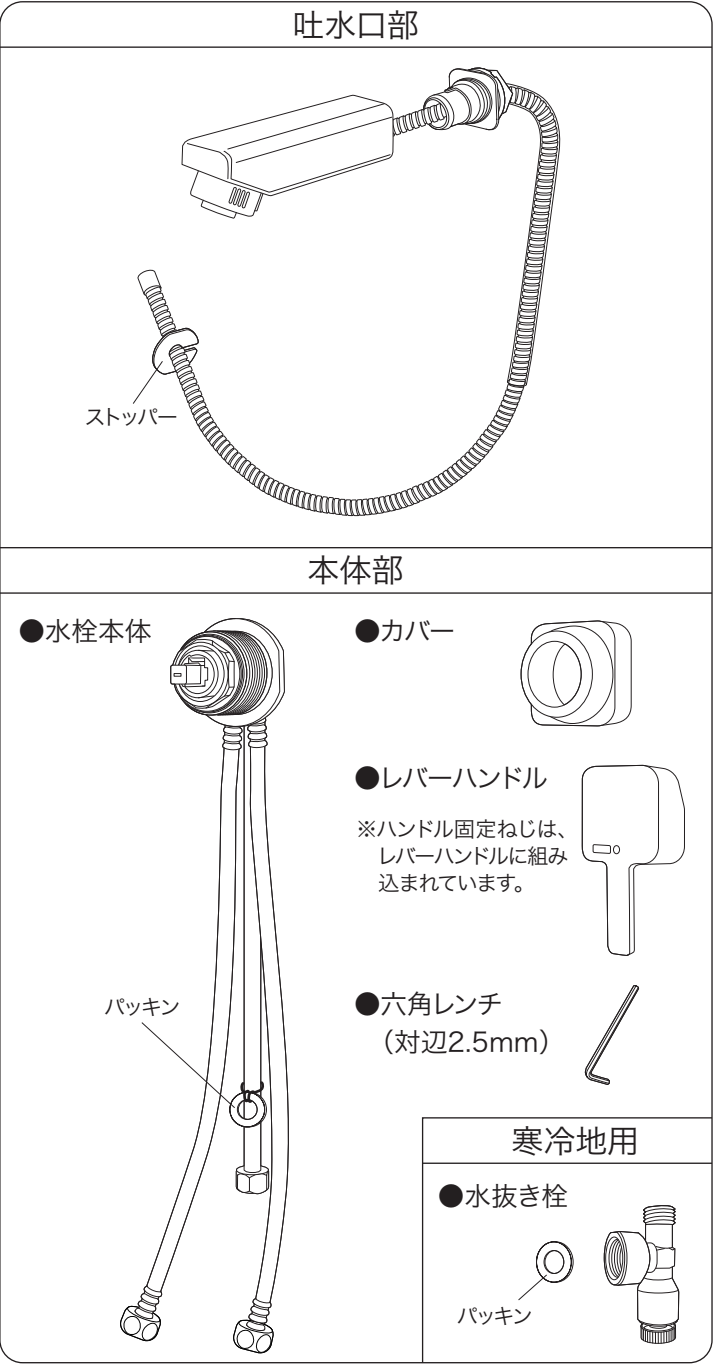
湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●使用条件

- 給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。
[ガス給湯器(比例制御式:16号相当)と組み合わせる場合]
給水圧力
最低必要圧力…A+0.05MPa{0.5kgf/cm²} (流動圧)
最高圧力………0.75MPa{7.6kgf/cm²} (静水圧)
Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
 - ・測定条件
※ レバーハンドルは全開です。
※ ガス給湯器との組み合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度42℃)によるものです。
※ 給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。
 - [貯湯式温水器と組み合わせる場合]
給水・給湯圧力
最低必要圧力…0.05MPa{0.5kgf/cm²} (流動圧)
最高圧力………0.75MPa{7.6kgf/cm²} (静水圧)
・温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。
 - 給水圧力が0.75MPa{7.6kgf/cm²}を越えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で0.20MPa{2kgf/cm²}程度に減圧してください。
 - 給湯に蒸気は使用できません。
 - 給湯圧力は給水圧力よりも低くしてください。正常な調節ができなく、やけどをするおそれがあります。
 - 使用最高温度…85℃以下
 - 使用可能水質…水道水および飲用可能な井戸水
 - 使用環境温度 一般地用…1～40℃
寒冷地用…-20～40℃
(ただし0℃以下は水を抜いた状態)
- 施工前のご注意
- 給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
 - 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
 - 給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
 - 取付けに必要な工具
・六角レンチ(対辺2.5mm)…同梱品
・スパナ ・モーターレンチ ・プライヤー
 - 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
 - 取付け後の保守点検のために必ず止水栓(別売)を設けてください。
 - 必ず「配管中の異物を完全に洗い流してください。」
 - 給水・給湯用止水栓の取出位置は化粧台の施工寸法に準じてください。

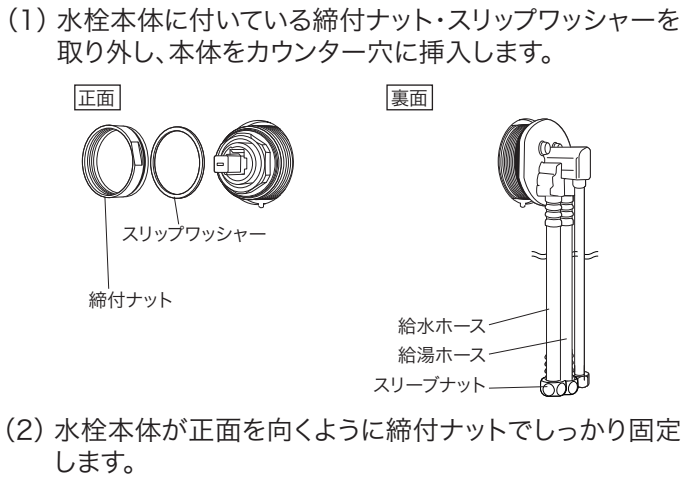
●部品の確認

次の部品があることを確認してください。

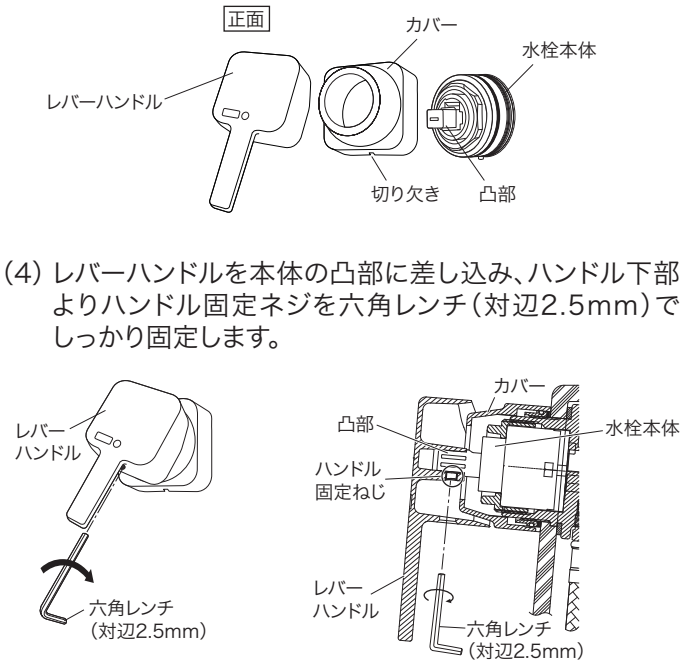


●施工方法

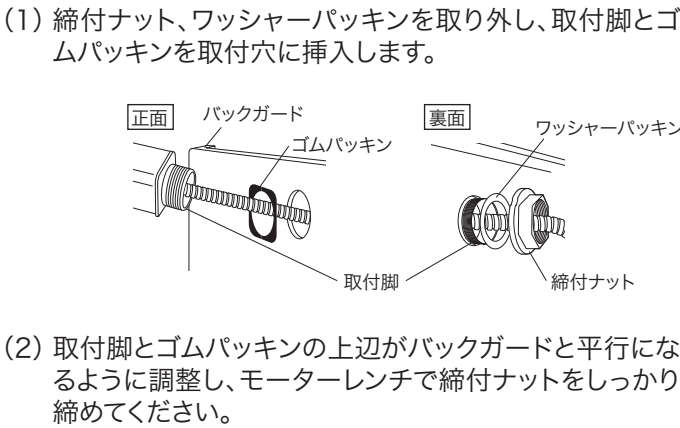
1. 本体部の取付け



- (3) カバーの切り欠きを下に向けて、水栓本体に取り付けます。

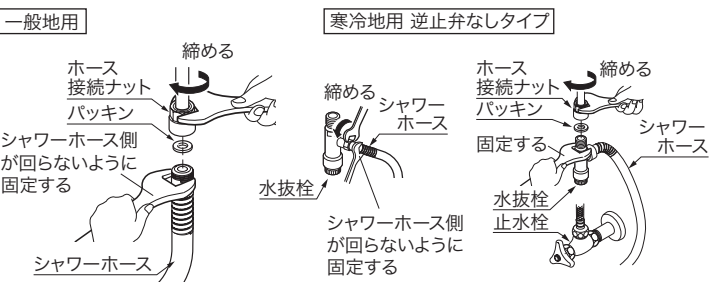


2. 吐水口部の取付け



3. シャワーホースと水栓本体の接続

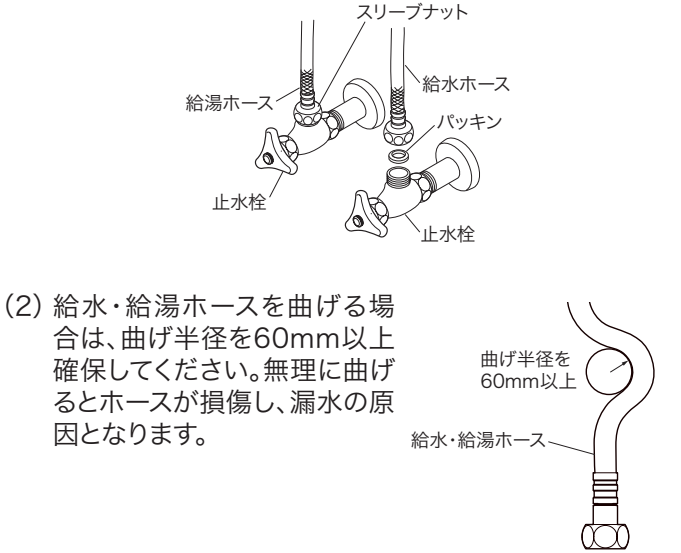
- シャワーホースとホース接続ナットをスパナでしっかり接続します。
- ※スリーブナットにパッキンがあることを確認してください。
※絶対にシャワーホースをねじらないでください。



- ※寒冷地仕様の場合、図のようにホースが湯・水の止水栓を避けるように止水栓の向きを調節してください。

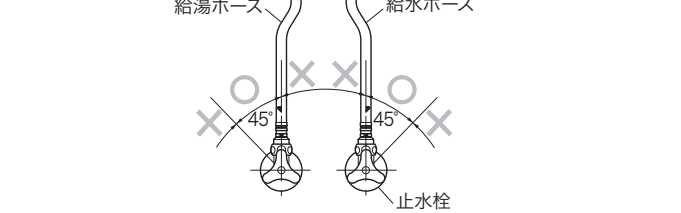
4. 給水・給湯ホースと止水栓の接続

- (1) スリーブナットを止水栓に固定します。
※スリーブナット内にパッキンがあることを確認してください。
※スパナを使ってしっかり締めてください。
※絶対に給水・給湯ホースをねじらないでください。



[給水・給湯の取出位置によって止水栓を垂直に取付けできない場合]

- ※止水栓の向きを図のように外側に約45°以内で傾けて、給水・給湯ホースが無理に曲がらないように調節してください。



5. ストッパー位置の調節

- ホースをいっぱいまで引き出したとき、止水栓などに引っかかる場合はストッパーの位置を調節してください。
- ホース引出し長さは300～400mmを目安としてください。



6. 水受けタンクの設置

- 使用中ホースを伝わって水が侵入することがありますので必ず水受けを設けます。

- ※シャワーヘッドの出し入れを数回繰り返して、シャワーホースの水が受けられることを確認してください。

- 水受けタンクの設置方法は洗面台本体の取付設置説明書をご覧ください。

